

神戸新聞社 2015年 (日刊)



発行所
神戸新聞社
郵便番号 650-8571
神戸市中央区東川崎町
1-5-7
http://www.kobe-np.co.jp/

電話 (078) 362局
報道部 7040 文化部 7044
経済部 7094 販売局 7066
運動部 7095 営業局 7081
映像部 7047 地域活動局 7086
写真部 7047

ご意見はパートナーセンターお客さま室
078・362・7056
月～土 10～17:30(日祝休み)

楽しく頭を動かして
認知症を予防しよう

頭がいいラジオ
三上公也の
情報アサイチ!
毎週 日～木曜日
午後6:35～

認知症予防啓発コーナー
CRKラジオ関西 558

購読のお申し込み
0120・16・8349
月～土 9:30～19:00
日・祝 9:30～17:30

先ごろ、川崎市で中学生が殺害されるという痛ましい事件があった。1990年代初めから、少年による殺人などの重大事件が頻発している。現在の社会は、子どもたちが健康でたくましく生きる環境を激しく奪っている。それは、大人たちがつくりだした、自己本位のゆがんだ社会・経済生活の在り様に問題があるからではないだろうか。人と人の関係が今ほど希薄になった時代が私たちの過去にあったのだろうか。

NPO法人「絵本で子育て」センター理事長

森 ゆり子

絵本を読んであげましょう

てられるのは「こころ」だけなのだ。そのような思いをたくさんの子育て中のお母(父)さんに伝えたいと、2004年にNPO法人「絵本で子育て」センターを芦屋市で設立した。絵本で子育てするこの楽しさを子育て中の方に語る人材を育成しよう」と「絵本講

師・養成講座」も開講した。開講時、故中川正文氏(元大阪国際児童文学館館長)は「本邦初の画期の講座だね。継続を祈る」と激励してくださった。また、松居直氏(福音館書店相談役)からは「家庭に言葉を復活する手がかりになるかも」と賛同の言葉をい

見る 思う



もり・ゆりこ 1965年、広島県生まれ。NPO法人「絵本で子育て」センター理事長。「絵本講師・養成講座」を芦屋、東京で開講。NHK文化センター講師も務める。著書に「絵本を読んであげましょう」。芦屋市在住。

えてきたように思う。私たちは、そんなお母(父)さん方に絵本を使った子育てをお勧めしている。毎日、たとえ一冊でも、たとえ数分でも、お膝で絵本を読んであげることによって、自然と親子が肌を触れ合わせ、心を通わせる時間が生まれてくる。そうした時間の積み重ねこそが、子どもの心を育む一番の栄養素なのだ。また、読み手からの愛情とは別に絵本(物語)からもすてきな贈り物が届く。物語の世界を旅する楽しさや喜びを知った子は、名も知らな

い路傍の草花にも、目の前を横切る子猫にも温かいまなざしを向けることができるようになる。人として一番大切な「優しい心」と「強い心」を育んでくれるだろう。乳幼児期の子どもにとっても、最も身近な存在である親と触れ合うことは、これから人生を生きっていく上でとても大切なことだと思ふ。お母(父)さんの肌や声に包まれ、心から安心できる「子ども」の時間」を過ごすことによって、子どもは自分がかけがえのない存在であることを確認し、同時に他人を大切にしようという気持ち芽生えていくのではないだろうか。親子で楽しい絵本の時間を過ごしてほしい。